

いま確実に動き始めているマーケット パパママ・キッズ婚への注力が 売上を左右する時代に

ミキハウス子育て総研の認定資格『ウェルカムベビーの結婚式場』は、ブライダル業界に急速に認知浸透し、認定会場も増えている。施設サイドにとっては認定会場であることを訴求することで、妊娠・出産により結婚式を挙げなかったカップルや子供連れゲストの多いカップルの集客に効果があるためだ。同社の藤田社長に同認定事業の詳細について語っていただいた。

ミキハウス子育て総研株式会社
代表取締役社長 藤田 洋氏



1978年大阪大学卒業後、日本リクルートセンター(現・リクルート)入社。企画室長、関西広告事業部長などを歴任し、約300社の人材採用・組織活性化をサポート。クライアントだったミキハウスのブランドイメージの基礎作りにも貢献。94年、ミキハウスに取締役営業本部長として入社。00年ミキハウス子育て総研(株)を設立。代表取締役社長に就任。ミキハウス & 小学館プロダクション取締役副社長、一般社団法人日本子育て支援協会理事を兼務。

婚礼と宿泊の両面に 波及効果が望める W 認定

シティホテル、リゾートホテルなどのホテルタイプであれば、『ウェルカムベビーの結婚式場』と『ウェルカムベビーのお宿』のダブル認定を受けることが、集客などの営業面により効果的に作用すると藤田氏は指摘する。

「結婚式場の認定メリットに加え、遠来の日帰りや難しい子供連れゲストに前泊、あるいは後泊してもらうことは、おもてなしの観点からも喜ばれる配慮となるでしょうし、会場にとっては披露宴人数増という利点があります。またリゾートホテルでは、乳幼児のバリアフリーが備わっているとわかれば、安心して挙式も申し込める。挙式にはご両親も同行するでしょうから、プラス大人4名の宿泊が見込めるのは非常に大きいと思います。宿泊付下見プランなどを平日に打ち出されれば、さらにその効果は倍増するでしょう」

現在、ダブル認定を受けているのは、シティホテルでは神戸ポートピアホテル(兵庫県神戸市)、オリエンタルホテル 東京ベイ(千葉県浦安市)、リゾートホテルではホテルエピナール那須(栃木県那須郡)、シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート(宮崎県宮崎市)、カヌチャリゾート カヌチャベイホテル & ヴィラズ(沖縄県名護市)の計5つのホテル。宿泊の認定を受けた後、結婚式場としても認定をされ、複合効果を上げている事例だ。「シティホテルでは、自宅を離れての初めてのお泊り体験となる施設が、赤ちゃんやママにやさしいとわかれば、また利用してみようというリピーターが期待できます。非日常体験で家族が元気になるりますし、託児所機能まであるホテルであれば、

ママにはエステなどでリラックスしてもらおう“ママ孝行”も叶う。そこに魅力的なパパママ・キッズ婚のプランがあれば、本気で検討してみようとなるはずだ」

認定項目はハードとソフトの両面があり、『ウェルカムベビーのお宿』が100項目、『結婚式場』は50項目。共通する項目もあるため、ホテルであればダブルで認定を受ける方が効率的ともいえるだろう。

これらの認定項目は安全性を含め、乳幼児を持つ親子にやさしいサービスが提供できるかどうかを評価する際に用いられる。この評価リストを基準として、認定士が現地へ赴き、調査・審問を行なったうえで認定される仕組み。認定期間は3年間で、費用はお宿が100万円(税別)、結婚式場は70万円(税別)。高い露出送客効果のある同社発行・運営の情報誌、及びWEBサイトへの掲載料金も含んだセット料金となっている。期間を3年としているのは、施設改装や人事異動等の変化を加味したためだ。

ウェルカムな体制作りは 人の面からも～養成講座

『ウェルカムベビーのお宿・結婚式場』の認定を受けると、現場プランナーの接客においても、営業トークがしやすいというメリットがある。このことから、ミキハウス子育て総研では、昨夏より一般社団法人日本子育て支援協会と共同で人材の育成にも注力を開始した。「パパママ・キッズ婚プランナー養成講座」の名称で、認定会場のスタッフを対象に3年で300人の育成を目標に掲げている。「いま婚礼の現場は若い独身のプランナーさんが多い。出産・育児後に復帰する方も増えてはいますが、実数としてはまだまだといった感があります。そんな若い現場スタッフが養成講座を受講されると、『キッズにばかり注目していましたが、ママの気持ちをしっかりフォローできれば決定にいたらないことが理解できた』、『結婚式に子連れで出席することが、いかにハードルが高いことかが

わかった』など、営業上、実に貴重な学びをされ、『今後は自信を持って安心安全なウェディングを勧めていける』となる。教材は当社が蓄積したノウハウをまとめたものですが、接客コミュニケーションの中にも生かせる内容に整えています」

養成講座の受講前後では、目に見えてプランナーの意識が変わった、との声も多く聞かれるようだ。また会場によっては、認定に先立って養成講座を受講し、その勉強の成果によって、受講プランナーがリーダーシップを取る形で備品の仕上げなどを行ない、その後スムーズに認定、営業スタートという流れとなったケースもあるようだ。



認定会場は、全国の小児科医・ミキハウスショップに配布・閲覧される情報誌「Happy-Note」(17万部発行・年5回発行)へ3年間の無料掲載。そして子育て応援サイト「ハッピーノート.com」(月間PV35万)へも3年間パブリシティが無料掲載される



一般社団法人日本子育て支援協会とタイアップして進める、「パパママ & キッズ婚プランナー」養成講座の様相

その他、写真撮影時や披露宴での子供の見せ方等々、もともとその会場が持っていたポテンシャルの高さを、パパママ・キッズ婚の方面にも発揮するようになり、より強力な“営業上の武器”として活用している事例も。

「このマーケットは確実にいま動き始めています。ママ友の子連れ結婚式に参列したゲストが、『こんなスタイルであれば、自分もやってみたい』と思ってもらえる確率は非常に高いですし、披露宴の場がそのまま営業ともなります。今後の営業戦略を立てる際に、パパママ層の取り込みを強力に支援する、これら2つの認定を取得されることをぜひご検討いただけましたら幸いです」



アニヴェルセル(株)は14年に運営するゲストハウス施設すべてで「ウェルカムベビーの結婚式場」の認定資格を取得。パパママ・キッズ婚に注力している。(画像提供/アニヴェルセル(株))



「ウェルカムベビーの結婚式場」「ウェルカムベビーのお宿」の認定ロゴマーク

CORPORATE DATA
ミキハウス子育て総研 株式会社
 大阪事務所 大阪市北区曽根崎新地 2-6-12 小学館ビル 4F TEL06-4797-1088
 東京事務所 東京都港区芝大門 1-4-8 浜松町清和ビル 2F TEL03-5776-2242
 【設立】2000年10月2日
 【ユーザー向けサイト】:「Happy-Note.com」 ~ウェルカムベビーのお宿/ウェルカムベビーの結婚式場 http://www.happy-note.com/
 【企業サイト】 http://corp.happy-note.com/